



一般社団法人 WheelLog

Annual Report 2019

年次報告書





みんなでつくる！
車いすでもあきらめない世界

難病や事故など様々な理由で車いす生活になります。車いすだと思ってしまうように動けずに消極的になってしまうこともあります。その状況を少しでも変えたいです。そして Wheelog! を通して「車いすでもあきらめない世界」をみんなで作りたいです。何が起きたとしても自分の持っている力を発揮し生き抜ける社会に。



コロナ禍において大変な状況であります
が、皆様いかがお過ごしでしょうか。
私たちは企業スポンサーや個人サポ
ーターをはじめ、多くの方のご支援によ
り 2019 年度も無事に事業を展開でき
ました。心より御礼を申し上げますと
ともに、ここに新年度の事業報告及び会
計報告をさせていただきます。

織田友理子

一般社団法人 Wheelog 代表理事

- » NPO 法人 PADM（遠位型ミオパチー患者会）代表
- » 総務省地域情報化アドバイザー
- » 東京都福祉のまちづくり推進協議会 専門部会委員
- » 社会福祉法人小田原福祉会 潤生園 評議員
- » Her Abilities Award 審査員

◎これまでの活動

思い返せば、私たちの活動は 2015 年の Google イン
パクトチャレンジでグランプリを受賞させていただいた
ことから始まりました。そして、2017 年には六本木の
ハリウッドホールにてアプリのリリースイベントを開催
しました。イベントでは小池百合子都知事が駆けつけて
くださり、300 名近くの方が参加していただいたおかげ
で、華々しくスタートすることができました。しかし、
アプリをリリースしてからの事業化はとても厳しいもの
でした。その時に助けてくださったのがスポンサー企業
や個人サポーターの皆様です。

◎国内での活動

皆様のご支援のおかげで、団体として一つ一つ事業
を積み重ねていくことができました。2019 年度は観光
庁から、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技
会場周辺のレストランをガイドブックにまとめる事業を
受託することができました。日本語版、英語版の二言語
でデータが公開される予定です。今後も国土交通省や各
地方自治体とも連携させていただきながら、様々な活動
に取り組んでいきたいと思えます。その他にも、2019
年度は 24 時間テレビに取り上げていただき、視聴者の
皆様から大きな反響をいただきました。また、Web 版
のバリアフリーマップ開発のために、クラウドファン
ディングにも挑戦し、たくさんの方からご支援をいただ
きました。

◎海外への展開

私たちの活動は国内だけでなく、海外からも高い評
価を受けております。観光大臣会合では世界 20 カ国の
大臣に向けて Wheelog! をプレゼンする機会に恵まれ
ました。さらに、アメリカマサチューセッツ工科大学
(MIT) や、2021 年に開催されるドバイ万博で、助成プ
ログラムを受けることができました。国境を超えて多く
の方が、私たちが目指す「車いすでもあきらめない世界」
の実現を願っているのだと実感しております。

◎世界一あたたかい地図へ

Wheelog! は世界一あたたかい地図へと成長していま
す。白地図だったこの地図も、今や 2 万 7 千人のユーザー
によって、3 万件のバリアフリー情報が投稿されるまで
になりました。地域で開催されるイベントだけでなく、
大学や高校の障害体験授業として、また SDGs を学ぶ企
業研修として、Wheelog! を活用していただいております。
車椅子ユーザーもそうでない人も、このアプリに参
加される意義を感じてくださっているのではないでしょ
うか。

◎情報を集めるだけのアプリではない

当初、Wheelog! アプリをリリースした頃は、ただた
だバリアフリー情報を集めることが、バリアフリー社会
の発展に繋がると認識しておりました。しかし、今では
「人と人とのつながり」がバリアフリー社会の実現には
欠かせないものだ実感しております。全国各地でイベ
ントを開催すると、人と人との輪が無限に広がり、その
波動が全国に広がっていくのを肌身で感じます。どんな
ことをするにも、大切なのは関わっている人です。これ
からも、人と人とのつながりが広がる「世界一あたたか
いコミュニティ」を形成しながら、老若男女すべての人
が参画する地域共生の「バリアフリー社会」を構築して
いきます。

◎みんなで明るい未来をつくる

同じ事象が起こったとしても、すべてはその人の捉
え方によって見える世界は変わってきます。将来を悲
観することなく、この Wheelog! と繋がっているから
こそ、どこまでもポジティブに生き抜いていけますよう
に。私たちの活動が、明るい未来をつくる一助となるよ
う、皆様と進んでいきます。引き続きのご支援を何卒よ
ろしくお願いいたします。

①情報システム事業

バリアフリーマップ「WheeLog!」

- ・アプリのアップデート
- ・ウェブ版開発
- ・オープンデータ

②調査コンサル事業

バリアフリー調査

- ・複合施設の調査
- ・バリアフリー飲食施設ガイド

③イベント啓発事業

街歩き体験

- ・地域共生イベント
- ・教育プログラム
- ・SDGs 企業研修

④行政連携事業

国土交通省との連携

- ・実証実験
- ・政策提言
- ・観光大臣会合

⑤海外開拓事業

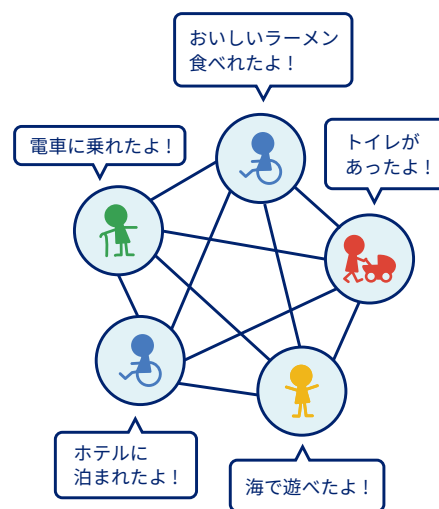
海外への発信

- ・MIT Solve
- ・ドバイ万博 2020

みんなで作る 世界で一番 あたたかい地図

バリアフリーマップ「WheeLog!」

みんなで作るバリアフリーマップ WheeLog! を開発・運営



特徴

- ①バリアフリーの体験が集まっている！
- ②ユーザー同士で交流できる！
- ③車いすで通れる道がわかる！
- ④世界中のバリアフリー情報がわかる！



無料ダウンロード

WheeLog! は、車いすで実際に通った道や、ユーザー自身が実際に利用したスポットなど、ユーザー体験に基づいたバリアフリー情報が集まっている「ユーザー投稿型」のバリアフリーマップです。スマートフォンのアプリで提供しており、どなたでも無料でご利用いただけます。WheeLog! を使えば、世界中のバリアフリー情報をアプリで検索・投稿することができます。

アプリのアップデート

パフォーマンス向上や多言語化のためにメジャーアップデートを実施

これまで WheeLog! は、開発コスト等を考慮し、Android と iPhone のクロスプラットフォームでのシステム開発を行ってきました。しかし、様々なシステム上の不具合が生じたため、その問題を根本的に解決するために、ネイティブ環境での開発にシフトしました。

今回のアップデート ver.3.0 では、ネイティブ環境での開発移行をはじめ、多言語化で合計 10 言語への対応、タイムラインやメインメニューの表示変更など、大幅なアップデートを実施しました。10 言語の翻訳にあたっては、各言語でボランティアの方に多大なご協力をいただきました。

ver.3.0 の主なアップデート項目

- 1、ネイティブ環境での開発に移行
- 2、多言語化（10 言語）
- 3、タイムラインの優先表示
- 4、Google スポットからの投稿
- 5、走行ログの色分け
- 6、メインメニューの表示変更
- 7、アイコンとテキストでの表示

ウェブ版開発

パソコンで利用できる Web 版「WheeLog!」の開発に着手

これまで WheeLog! はスマートフォンのアプリでサービスを提供してきました。しかし、スマートフォンを使用できない重度の障害を持った方など、より多くの方にバリアフリー情報を届けられるよう、本年度からパソコンで利用できる Web 版の開発に着手しました。

開発にあたり支援のためのクラウドファンディングを行いました。おかげさ

で 2019 年 9 月から 11 月にかけて 286 名の方から 432 万円ものご支援をいただきました。

ご支援をもとに、2020 年 1 月よりアプリからの投稿を閲覧・検索できる Web 版 WheeLog! の制作をスタートしました。現在、2020 年 7 月のリリースに向けて開発を進めています。

クラウドファンディングのご支援



支援者数 286 人
支援金額 432 万円

オープンデータ

自治体や企業が公開しているオープンデータを活用して情報を充実

オープンデータは自治体や企業が一般に公開している情報のことです。オープンデータの中には多目的トイレなどのバリアフリー情報もあります。WheeLog! ではこれまで東京都や町田市など、自治体のオープンデータを活用して、アプリにバリアフリー情報を取り込んできました。

本年度は株式会社ファミリーマート様と提携し、全国 4600 店舗以上の多目的トイレの情報を連携いただきました。この情報は今後も毎月アップデートして最新情報をアプリに反映します。

主なオープンデータ協力団体



多目的トイレ
499 件

多目的トイレ / エレベーター
6553 件



多目的トイレ
4627 件
(毎月更新)



多目的トイレ
370 件



多目的トイレ
217 件

バリアフリー飲食施設ガイド

観光庁の委託で飲食施設のバリアフリー情報を掲載したガイドブックを作成



バリアフリー飲食施設ガイドは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（東京 2020 大会）を契機として来訪する外国人旅行者に対して紹介していくことを目的としたガイドブックです。国土交通省観光庁発の企画競争に参加し、企画実施力や実績に対して高い評価を受け、本事業を受託しました。

本事業は、①バリアフリー調査項目の策定、②飲食施設への取材交渉、③実地調査、④ガイドブックの制作と、仕様策定から制作までの全ての工程を、WheelLog! 支援者のご協力のもと行いました。

本ガイドは観光庁ホームページに掲載され、オープンデータとして自治体や民間事業者など、広く一般に提供される予定です。



当事者目線の バリアフリー情報を伝える

バリアフリー調査

障害当事者が中心となってバリアフリー情報を調査

WheelLog! では「バリアフリー調査力」を持つユーザーの方の協力をいただき、施設のバリアフリー調査を行っています。調査の中では、障害当事者の視点から気づいたバリアフリーの課題について、具体的な改善策や対応策なども提案しています。

複合施設の調査

サンシャインシティのバリアフリーを調査

株式会社サンシャインシティ様より依頼を受け、東京池袋にあるサンシャインシティのバリアフリー調査を行いました。館内の飲食施設 84 店舗に加え、多目的トイレや水族館、展望台などの館内施設、最寄駅からのルートなど、施設全体のバリアフリーについて調査しました。本調査に際しては WheelLog! ユーザーの方々にご協力を募り、調査に参加いただきました。



ガイドブック制作の流れ

調査項目の策定

調査項目の策定にあたっては、観光庁と協議を重ね、飲食施設に必要なバリアフリー情報およびインバウンド情報を選定しました。特に、視覚的に多くの情報を得られる写真を多用すること、視覚障害者へ配慮したルート案内を記載することなど、障害当事者らの声を反映させながら調査項目を策定しました。

1

飲食施設の取材交渉

東京 2020 大会競技場の周辺および最寄り駅、都心主要駅周辺の地域の中から、本ガイドの趣旨に同意し、ご協力いただける飲食施設様へ取材交渉を行いました。本ガイドではバリアフリーおよびインバウンド対応を行っている飲食施設 109 件にご協力いただきました。

2

実地調査

実地調査は 2019 年 11 月～2020 年 2 月の 3 ヶ月にわたって実施し、車いす当事者と歩行調査員の 2 名が調査にあたりました。調査員は WheelLog! 寄付会員の方を中心に、30 名以上の方にご協力いただきました。首都圏外の地方の調査については、各地のバリアフリーセンター様にご協力いただきました。

3

ガイドブックの作成

本ガイドは、紙とデジタルの双方で提供できるよう、ガイドブックという形式で作成しました。また、外国人旅行者に対して紹介するため、日本語版に加えて英語版も作成しました。最終的に 1400 枚を超える写真を使用し、約 250 ページのガイドを制作しました。

4

掲載店舗 **109** 件

誌面 約 **250** ページ

写真 約 **1400** 枚



障害者も健常者も みんなで楽しむ街歩き

街歩き体験

車いすで街を散策する体験イベントを全国各地で開催

街歩き体験は全国各地で開催されており、バリアフリーを通して地域活性化を促進させる「地域共生イベント」、福祉を学ぶ学生のための「教育プログラム」、社員教育のための「SDGs 企業研修」など、様々なコンテンツに展開しています。

全員が車いすユーザー！ リアルな街で車いす体験



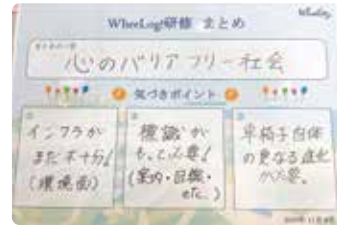
全参加者が車いすに乗車して街歩きを体験します。実際に車いすを利用しているメンバーに車いすの使い方、公道を歩く時の危険性について教わることで、車いすユーザーのリアルを体験できます。

ミッションに挑戦！ ゲーム感覚で車いす体験



1チーム5名程度で街に出て、ランチを食べたり、ミッションにチャレンジしながら、ゲームを楽しむように街を散策します。街歩き後はチームに一体感が生まれ、参加者同士がとても仲良くなります。

みんなで深める！ 気づきと体験のシェア



車いすを身近に感じ、今ある問題点を知ることで、街で困っている人がいたらどのように声かけするか？など、気づきや感想を発表します。他の参加者の体験を共有することで更に深い学びにつながります。

参加者全員が車いすユーザーになって、街の散策を通して、
バリアフリーについての気づきを得られる体験型のイベント

地域共生イベント

全国各地で市民参加イベントを開催

大人から子供まで、障害のあるなし関わらず、地域の市民の方が参加しています。「車いす」というキーワードで、家族や友人が車いす利用者の方、リハビリ職や介護職に携わる医療専門職の方など、様々な属性の方が集まり、街歩きをします。地域のイベントとしてこれまで全国22カ所で開催され、のべ1000名以上の方が参加されました。



親子で一緒に街歩きに参加 @ 横浜
(2019年4月)

仙台医健・スポーツ専門学校での教育プログラム
(2019年9月)



教育プログラム

教育機関向けの授業プログラムを提供

一般の障害体験の授業をすると「障害は大変（健常で良かった）」という単純な感想になりがちです。WheelLog!を使って情報をアップすることで「大変なことをどうしたら解決できるのか」「自分たちにできることはないのか」という当事者意識を生徒に醸成することができます。自分たちが暮らす地域の問題点について考え、情報を共有することの大切さを生徒が実感できる良い経験になります。



街歩きイベントでは
懇親会も開催 @ 京都
(2019年7月)

薬樹株式会社での
企業研修
(2019年11月)



SDGs 企業研修

体験を通して SDGs を学ぶ

車いす当事者を講師に招き、SDGsについての研修を行います。研修ではバリアフリーについての講義に加え、街歩き体験を実施します。講師とともに街で実体験することで、座学や社内での体験乗車会だけではわからない、様々な学びを得ることができます。体験を通して「自分ごと化」して考えるチカラを身につけます。

教育プログラム無償提供



伊勢崎興陽高校福祉科の教諭にご協力いただき制作しました。ホームページにてWordファイルで無償提供しています。詳しくはお問い合わせください。

WheeLog! in 小田原

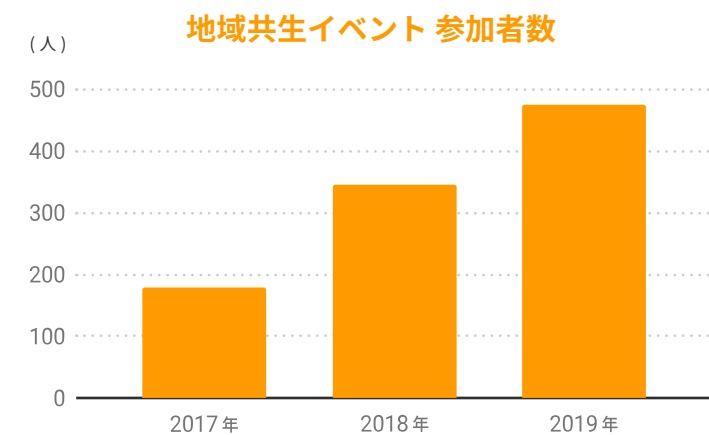
神奈川県西部地区リハビリテーション連絡協議会の取り組みを紹介

神奈川県西部地区リハビリテーション連絡協議会の皆様が、小田原市で WheeLog! の街歩きイベントを中心に、地域に根ざした活動を続けています。ここでは WheeLog! の活用事例として、小田原市での取り組みを時系列で紹介します。



WheeLog! in ○○

これまで開催してきた街歩き体験イベント



全国 **22** カ所

参加者 **1000** 名以上

満足度 **88** 点以上

駅舎内のバリアフリー化の一層の推進について

現在、車いす利用の障害者が交通機関の各駅から乗車する際、駅員のエスコートが前提になっています。車いすに乗る障害者がエスコートなくても自由に交通機関を利用できれば、障害者がもっと自由に活発な生活を送ることができます。また駅員の負担軽減にもつながります。是非、早期に駅内のバリアフリー化を一層促進するため、国庫補助を拡大等、公共交通機関のバリアフリー化を徹底していただき、健常者の思いやりの下で、車いす障害者一人でも自由に活動できる社会を実現してください。

車いす障害者への IC 乗車券の発行について

現在、車いすの障害者が駅の改札を入れる時には IC 乗車券利用で入場できますが、改札を出るときには、有人の改札口を利用して身障者手帳を提示する必要があります。関西地域の鉄道駅ですでに、身障者用の IC 乗車券で改札を出入りできるシステムとなっています。関東をはじめ全国の各駅でもこうした IC 乗車券での改札が利用できるよう、国土交通省として鉄道事業者等に指導していただき、自由で快適な社会の実現をお願いしたいと思います。

政策提言

当事者の声を集めて行政にバリアフリー政策を提言

2019 年 11 月 1 日に国土交通省を訪問し、赤羽一嘉国土交通大臣に陳情書を提出しました。今回の陳情書は障害者施策の一環として、公共交通機関のバリアフリー化について 2 つの要望にまとめました。



観光大臣会合

世界 20 カ国の観光大臣の前で WheelLog! の活動について紹介

2019 年 10 月 1 日に「観光×テック」をテーマとしたピッチコンテスト「G20 Tourism Innovation Pitch」が開催されました。ピッチコンテストは世界 22 カ国 108 企業から申請があり、その中の 19 社がファイナリストとしてピッチコンテストに挑みました。WheelLog! はファイナリストの中で最終 3 社に選ばれました。

ファイナリスト代表として 2019 年 10 月 26 日に北海道で開催された G20 観光大臣会合に出席しました。会合の中で登壇する時間をいただき、G20 の各国大臣の前で WheelLog! アプリと団体の活動について紹介する機会をいただきました。会合後には日本の赤羽一嘉国土交通大臣をはじめ、世界の参加者の方々からお声がけいただき、WheelLog! の活動に興味を持っていただけました。



日本を世界一のバリアフリー先進国に

国土交通省との連携

当事者の声を行政に反映

バリアフリー環境の向上には行政レベルでの制度改善が欠かせません。WheelLog! では当事者の声を行政に反映できるよう、国交省と連携して様々な活動に取り組んでいます。

実証実験

国交省のバリアフリー実証実験に協力



アプリをリリースした 2017 年から、毎年国土交通省のバリアフリーに関する実証実験に協力しています。平成 29 年度はバリアフリーに関するデータの効率性・効果的な収集方法を検証するために、データ収集ツールとして WheelLog! アプリを提供

しました。平成 30 年度は池袋駅周辺で街歩きイベントを開催し、バリアフリー情報の収集方法を検討しました。本年度は浜松市で小学生がスマートフォンやタブレットを利用してバリアフリー情報を収集するイベント形式の実証実験を実施しました。



浜松での実証実験
(2019 年 10 月実施)

説明会



街歩き





海外への発信

社会問題解決のためのソリューションとして世界から高い評価を獲得

World Summit Award

アワード受賞
ポルトガル (2019)

IDB (米州開発銀行)

イベント登壇
アメリカ (2018)

Google Play Awards

アワード受賞
世界の中から選出 (2019)

Zero Project Award

アワード受賞
オーストリア (2018)

EXPO LIVE 2020 Dubai

助成プログラム選抜
ドバイ (2019)

Golbo

ブラジル最大のテレビ局
ニュース番組で紹介 (2019)

MIT Solve

アワード受賞
助成プログラム選抜
アメリカ (2019)

アワード受賞 **4** 回

助成プログラム選抜 **2** 回

MIT Solve

マサチューセッツ工科大学 (MIT) で世界の 32 団体に選出され、2 つの団体からアワードを獲得

アメリカのマサチューセッツ工科大学 (MIT) で社会問題を解決するための助成プログラム「MIT Solve」が公募され、100 以上から 1400 以上の団体が応募しました。WheelLog! はその中でファイナリスト 32 団体の「MIT Solver Teams」に選抜されました。

さらに、アメリカ大手の財団である Morgridge Family Foundation から Community-Driven Innovation Prize を、アメリカ大手自動車メーカーのゼネラルモーターズから GM Prize on Community-Driven Innovation の賞を獲得しました。

現在、MIT のサポートを受けながら、アメリカを起点に WheelLog! を世界に展開するための準備を進めています。



ドバイ万博

Expo 2020 Dubai の助成プログラム「Expo Live」でグローバルイノベーターに選出

Expo 2020 Dubai (2020 年ドバイ国際博覧会) が 2021 年に開催されます。「Expo Live (エキスポ・ライブ)」はドバイ国際博覧会のプログラムの一環で、地球上の様々な社会課題に対し、創造的な解決策を提示するプロジェクトを支援するための助成プログラムです。

これまで 184 カ国から 1 万 1,000 件を超える応募がありました。日本からは 2 団体のみが選出されており、その団体の 1 つが WheelLog! です。

2019 年 11 月には中間報告としてドバイを訪問し、現在の活動について報告してきました。今後 2021 年 10 月から 2022 年 3 月まで約半年に渡って開催されるドバイ国際博覧会で WheelLog! を展示紹介する予定です。



WheelLog! のあゆみ

一般社団法人 WheelLog 代表理事
織田友理子



▲Google インパクトチャレンジにて (2015 年 3 月)



▲アプリのリリースイベント、小池都知事も出席 (2017 年 5 月)



▲横浜での街歩きイベント (2019 年 4 月)

遠位型ミオパチーという進行性の病気である私は子どもを産んでから車いす生活になりました。子育てをする中で毎年夏のシーズンになると息子を海に連れて行ってあげたいと思っていました。でも私は車いすだから行けないとあきらめていました。そんな状況が3年ほど続いたある日、車いすでも行けるビーチのバリアフリー情報をネット上で見つけました。そして、その情報のおかげで実際に息子と海に行くことができました。この時、車いすでもあきらめなくていい、情報があればいろんなところへ行けることを知りました。

しかし当時はなかなかネット上でバリアフリー情報を見つけれませんでした。それなら自分がバリアフリー情報を発信しよう！と、車いすでお出かけした体験を 2014 年 1 月より動画で紹介し始めました。YouTube チャンネルの車椅子ウォーカーです。車椅子ウォーカーを始めてたくさんの車いすユーザーの方から反響をいただきました。しかし、その一方で、一人だけの情報発信には限界があることも感じました。

そこで、一人一人が情報の発信者となって、みんなでバリアフリー情報を共有できるアプリがつくれなかと考えました。このアイデアを 2015 年の Google インパクトチャレンジで発表したところ、グランプリを獲得し、Google からアプリ開発のための支援を受けることができました。そして、2017 年 5 月にみんなでつくるバリアフリーマップ WheelLog! アプリをリリースしました。

アプリリリース後は、全国各地でイベントを開催しながら、ユーザーのネットワークを拡大しています。また、国内外で 10 を超える賞を獲得し、世界的に高い評価を得ています。



▲横浜での街歩きイベント (2020 年 2 月)

国内

- Google インパクトチャレンジ (2015 年) グランプリ
- 日本建築学会 技術部門設計競技 (2017 年度) 優秀賞
- 第 16 回情報科学技術フォーラム (2017 年) FIT 奨励賞
- 東京都オープンデータアプリコンテスト (2018 年) 入賞・来場者特別賞
- フェデックス・スモール・ビジネス・アイデア・コンテスト (2019 年) 準優勝
- 総務省 ICT 地域活性化大賞 (2019 年) 優秀賞
- 観光庁 G20 Tourism Innovation Pitch (2019 年) 入賞

海外

- Zero Project Award (2018)
- World Summit Awards (2018)
- WSA Global Congress (2019) Global Champion
- Google Play Awards (2019) Best Accessibility Experience Winner
- MIT Solve (2019) Solver Teams
- Morgridge Family Foundation Community-Driven Innovation Prize
- GM Prize on Community-Driven Innovation
- EXPO LIVE 2020 Dubai (2019) 4th cycle finalist



メディア

テレビ

- | | |
|------------|------------------------------|
| 2019/05/25 | 群馬テレビ |
| 2019/05/27 | NHK 徳島放送局 |
| 2019/05/28 | BS 朝日「Fresh Faces 〜アタラシイヒト〜」 |
| 2019/07/17 | NHK 京都放送局 |
| 2019/07/28 | テレビ東京「チェンジ・ザ・ワールド」 |
| 2019/08/17 | 日本テレビ「嵐にしがれ」 |
| 2019/08/25 | 日本テレビ「24 時間テレビ」 |
| 2019/08/25 | ブラジルテレビ局 Globo |
| 2019/10/05 | NHK 静岡放送局 |
| 2019/11/19 | テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」 |
| 2020/02/27 | NHK world |
| 2020/02/29 | NHK E テレ「高校講座」 |

ラジオ

- | | |
|------------|----------|
| 2019/07/24 | FM おだわら |
| 2019/11/25 | J-WAVE |
| 2019/11/29 | ゆめのたね放送局 |
| 2020/02/26 | FM ヨコハマ |

新聞

- | | |
|------------|------|
| 2019/05/25 | 上毛新聞 |
| 2019/05/26 | 毎日新聞 |
| 2019/05/27 | 徳島新聞 |
| 2019/08/03 | 読売新聞 |
| 2020/02/05 | 朝日新聞 |
| 2020/02/06 | 日経新聞 |

雑誌・ネット等

- | | |
|------------|-------------------|
| 2019/05/24 | 米州開発銀行 公式ブログ |
| 2020/02/05 | リガクラブ |
| 2020/03/31 | 東京ボランティアポータル |
| 2019/04 | 国土交通省 バンフレット |
| 2019/12 | 『事業構想』2020 年 1 月号 |

24 時間テレビ出演



Google CEO との面会



法人スポンサー

100 万円 / 年

50 万円 / 年

30 万円 / 年

10 万円 / 年

法人様向けに 4 つのスポンサープランをご用意しております。ご支援のお問い合わせはメールにて。info@wheelog.com

個人サポーター

10,000 円 / 月

5,000 円 / 月

3,000 円 / 月

1,000 円 / 月

プラチナ個人サポーター

畠山直久 様 村田康剛 様

サポーターの詳細はこちら



寄付振込口座

楽天銀行 第二営業支店 (252)
普通 7785882
一般社団法人 Wheelog
シヤ) ウィーログ

1 口 1,000 円より随時受付中

Platinum



GENERAL MOTORS

Silver

第三文明社



Bronze

Olasonic



株式会社
ダスキン福山



明立精機株式会社



特別協賛



【10 万円】個人プラチナコース

松下雄一 塩田芳久 (2 件)
若宮 有希 田中 孝治
庄司 幸平 畠山直久
竹田 英人 林 雄二郎
藤井光城・順子

【5 万円】個人ゴールドコース

田中健二 TB ファクトリー大河内崇宏
小林 聡一 民秋清史
藤川 由佳子

【3 万円】個人シルバーコース

福原学 irubi
比嘉 文 中村 元
Yoshio Sugai 中園靖子
清藤千景 細野直久
阿部 学

【3 万円】ライブ配信参加コース

向井みどり 浅沼 康
Maho とりちゃん

【1.5 万円】ティーパーティーコース

福祉研究会 MAHARO 畠山直久 (2 件)
山岸史津子 もえ P
日本補助犬情報センター橋爪智子 江原 顕
山口和宏 星 佳代

WheelLog! Web 版の制作にあたって実施したクラウドファンディング支援者のお名前を掲載しています。お名前は支援順に希望者のみの掲載としております。(敬称略)

【1 万円】個人ブロンズコース

小林 美加	大串 豊	笹川瑞穂
阿部 浩	Masaya Arai	酒井里奈
鳥巢慶子	長谷川攝	イマホリイクエ
伊東 洋行	Enchan	笹島由紀子
鈴木 木 登	飯田 正之	金子智紀
ha24ka	高野元	武田 正道
Junko Okuda	西垣和美	makky
永島崇子	宮本 立史	岡井 敏
M&I FUJITA	mayuli morishita	佐々木 将人
田邊健士	三代達也	永島崇子
細井俊希	栗飯原	塚本恵子
伊藤慎一郎	やまさけんたろう	立野 未奈子
田代純子	井上 隆敬	山口憲二郎
牧野 成将・和子	伊藤貴雄	松村謙助
青木泰彦	赤石裕二	高野元
中島一郎	狩野淳	M. TAKI
渡辺 秀雄	車いす工房 輪 浅見一志	tt-sakura
本名陽子	吉田雄一	山城美智
れぼさん	下村 信	藤原一男
有賀リエ	さかがみ	鞆の浦さくらホーム
竹内健児	さやか	勝牧子
稲垣 功一	飯田 正之	長田健吾
角川佳蓮	まごの手 きねづかグループ	Kyoko Inahara
K.Fujiwara	SUMIMASA IKEBE	星 俊作
高嶺 龍二	金澤均	菊島喜人
のせ	千葉佳史 しの 創太 百花 海和	Shoko
bari	佐野公美子	竹中正
竹中純		

【1 万円】オリジナルグッズコース

フラミンゴ隊	Noriko Miyayama	Aya
HIDEO KONDO	ゆずは	丸山 泰明
杉山葵	清藤千景	元司
八木良子	小林宮子	Enchan
原田君江	高細工 詩乃	糸井正王
安永隆文	小栗優里	大泉 美枝子
ゆらパパ	はやお よしこ	尾藤 智
介護タクシーめぐり 花城健	かんちゃん	きむらひろし
安重奈津代	佐々・藤盛特許事務所佐々百合子	さなえ
関根智子	織田史彦	福庭由也
田中西吏	待鳥伊久子	リボン

ご支援いただき誠にありがとうございます。

活動計算書（平成31年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月31日まで）

（単位：円）

Ⅰ 経常収益			
1 受取会費	3,900,000		
2 受取寄付金	5,613,220		
3 受取助成金等	13,935,097		
4 事業収益	6,628,079		
5 その他収益	62		
経常収益 計		30,076,458	
Ⅱ 経常費用			
1 事業費	13,316,349		
2 管理費	1,745,328		
経常費用 計		15,061,677	
当期経常増減額		15,014,781	
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益 計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額		15,014,781	
法人税、住民税及び事業税		69,900	
当期正味財産増減額		14,944,881	
前期繰越正味財産額		△ 231,101	
次期繰越正味財産額		14,713,780	

貸借対照表（令和 2 年 3 月31日現在）

（単位：円）

Ⅰ 資産の部			
1．流動資産			
現金預金	11,769,848		
未収金	4,823,162		
流動資産合計		16,593,010	
2．固定資産		0	
資産合計		16,593,010	
Ⅱ 負債の部			
1．流動負債		899,230	
2．固定負債		980,000	
負債合計		1,879,230	
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産	△ 231,101		
当期正味財産増減額	14,944,881		
正味財産合計		14,713,780	
負債及び正味財産合計		16,593,010	

団体名	一般社団法人 Wheelog
法人設立	2018 年 8 月
代表理事	織田友理子
理事	牛山 大輔（ハリウッド株式会社 代表取締役社長） 櫻井 政考（東京都立大学 総務部 特命担当部長） 高橋 ゆき（株式会社ベアーズ 取締役副社長） 野村 美通（M & K コンサルタンツ株式会社 代表取締役）
監事	内野 真人（公認会計士）
最高技術責任者	伊藤史人（島根大学総合理工学研究科 助教）
最高知識責任者	吉藤オリィ（株式会社オリィ研究所 代表取締役）
事務局員	織田洋一、松下雄一
運営委員	荒井雅代、池田裕美、鈴木メイザ、初鹿真樹、藤原健太
寄付会員	153 名（2020 年 3 月 31 日時点）
目的	障害者や高齢者、ベビーカー利用者などの移動に困難を抱える方向けにバリアフリー情報を発信し、社会全体のバリアフリーに関する理解を普及させること
事業内容	(1) バリアフリーに関する情報の提供 (2) バリアフリーに関する調査及び研究 (3) 街歩きイベント企画及び運営 (4) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業
所在地	〒 102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-2 九段坂パークビル 4 階 M&K コンサルタンツ内
電話番号	050-5437-0791
メールアドレス	info@wheelog.com
ホームページ	https://wheelog.com/